

授業科目 解剖学Ⅰ

【担当教員名】 ○山田まりえ、西野幾子	対象学年	1	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：G I O>

解剖学Ⅰでは、人体の基本的構造を全体的に理解する。特に運動器、神経系以外の器官・組織系、内臓系（消化器・呼吸器・尿生殖器）、循環器系、感覚器系、内分泌系についてそれぞれの形態・構造を理解する。

<行動目標：S B O>

1. 解剖学、形態学をととは何かを説明できる。
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を説明できる。
3. 種々の組織の分類とその特性を概説できる。
4. 解剖学的姿勢を説明し、解剖学を適切に使える。
5. 消化器系を構成する器官、その付属器のめ衣装、位置を説明できる。
6. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する各器官の名称、位置を説明できる。
7. 尿生殖器系を構成する器官の名称、位置ならびに簡単な機能を説明できる。
8. 主な内分泌腺の名称と位置、分泌されるホルモンの名称を言える。
9. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を概説できる。
10. 特殊感覚を司る各器官の名称、位置ならびに簡単な作用を概説できる。
11. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学序論 解剖学とは 解剖学用語	1	講義
2	組織学 組織学総論 細胞と四大組織	4	"
3	内臓学1 消化器系 呼吸器系	2	"
4	内臓学2 尿生殖器系 内分泌系	3	"
5	循環器系 心臓 大循環と小循環	5	"
6	感覚器系 味覚器、視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、外皮	6	"
7	ヒトの発生 頭頸部・顎顔面部の発生	7	"
		8	"
		9	"
		10	"
		11	"
		の総合評価	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺正仁	廣川書店	2000年 5500円
参考書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂	2000年 9233円
その他の資料				

【評価方法】 出席状況・態度、筆記試験の総合評価	【履修上の留意点】 高校時代に生物を履修しなかった学生は「生物学入門」を必ず履修すること。
-----------------------------	--